



城山 COMCOM 通信



三春小学校学校運営協議会広報

第3号

令和5年1月10日発行

コムコム

三春小学校には学校運営協議会があり、コミュニティスクールになっています。

地域と学校を結ぶ
子どもたちのための応援通信です。

【発行】三春小学校運営協議会
(三春町立三春小学校内)
三春町字大町157
Tel.0247-62-3101

12月22日(木)に、今年度第3回目の学校運営協議会が開催されました。第2回に引き続き、「子どものためになること」を第一に考え、よりよい学校づくりのための意見交換がなされました。

【学校運営協議会組織】

会長 吉田 将史

(地域代表)

副会長 橋本 厚枝

(地域代表)

副会長 辻 裕

(保護者代表)

委員 内藤 耕力

(地域代表)

委員 大内 長久

(地域代表)

委員 栗山富久子

(地域代表)

委員 橋本 光永

(地域代表)

委員 平山 聡

(地域代表)

委員 高野 信広

(学識経験者)

委員 佐藤恵美子

(学識経験者)

委員 遠藤 俊一

(行政関係者)

校長 猪狩 仁

教頭 後藤 裕子

教諭 鈴木 努

教諭 柳沼 清美

教諭 赤沼 佳子

教諭 横田 佳奈

教諭 佐藤 智子

教諭 須藤菜々美

◇ 協議内容

(1) 11、12月の教育活動

- ・ 11月に行われた「はばたけ三春っ子」では、子どもたちが一生懸命取り組んだ成果を保護者の方に見てもらうことができた。PTA三役の方にも運営にご協力いただいた。

(2) 本校の課題にそったグループ協議

○ 学力向上分科会より

- ・ 子どもたちの言葉の力を育てていくために必要なことについて協議した。5年生は、新聞社の方をお呼びして、文章の書き方を学んだ。ここで学んだことを継続し、力を付けさせたい。
- ・ 新聞を家でとっている家庭が少なくなったが、新聞のよさがたくさんある。記事について自分の考えをもったり、記事の見出しを考えたりするなどのやり方を取り入れるとよい。



○ 生徒指導分科会より

- ・ オンラインゲームやSNSでのトラブルに関する協議では、保護者や周りの大人の認識を変えていくために、講演会を行うのはどうかという提案があった。子どもたちの実態や対策を伝える必要があるということだった。
- ・ ゲームをしたり、動画を見たりしている子どもの様子に変化があれば、どんな内容に興味をもっているのかを把握し、子どもと一緒に言葉遣い等について話し合ってみるとよいのではないかという意見をいただいた。
- ・ 子どもが小さいうちから、親子でゲームの時間を決めて、それを守ることができるようにさせたい。約束を守り、切り換えができる力を付けることが大切である。

○ 心身の健康(特別支援教育含む)分科会

- ・ 校内でもコロナ感染者が増えていることについて協議した。家庭内の感染により、2～3週間学校に登校できないという子もいる。学校から家庭に課題を郵送して、対応している。
- ・ 学校は、集団で活動して様々なことを学ぶ場である。制限がある部分もあるが、感染対策をしっかり行って、教育活動を進めていきたい。

(3) 意見交換

- ・ 下校中の子どもたちの様子を見てみると、子ども数も少なくなり、暗い中、帰るのが危険な感じがするとのことだった。子どもたちのランドセルの反射板や防犯ブザー等を確認するとよい。

